スポットライト
～地域で頑張る人たち～
No.13

「気長に、気楽に、危険なく」地域に愛される青パト隊に

川西町内会地域安全パトロール隊

川西町内会地域安全パトロール隊は、町内会活動の一環として、田崎小・中学校区の児童を事件や事故から守ろうと、平成17年10月に有志で結成された「青パト隊」。現在隊員は、年齢40代～70代の46人が所属しています。

川西町は、人口も交通量も多い所。交代制で、週に3回、児童の下校時間に、青色回転灯を備えたパトロール専用車1台に乗り込み、通学路をパトロールしています。

また、自家用車に青色回転灯を設置している隊員も多いのが特徴。買い物や仕事に出かける際にも、青色回転灯を回して、パトロールを行っています。

10年以上、通学路のパトロールに当たっていることから、隊の活動は広く知られており、子どもたちの信頼も厚く、地域に根付いています。このボランティア活動が評価され、平成28年10月には文部科学大臣表彰を受賞しました。

平成29年11月には、新しいパトロール専用車を導入し、田崎小学校で、贈呈式及び出発式が盛大に行われました。

白木川重行（しらきがわしげゆき）隊長は、想いをこう語ります。「隊員たちは皆、自ら進んで活動している。隊の活動の基本方針は、『気長に、気楽に、危険なく』。これからも、隊員としての自覚と誇りを持って、地域の安全、子どもたちの見守りを続けていきたい」

青パト台数は20台以上で、市内の「青パト隊」では最多を誇る。平成29年11月の新・パトロール車出発式には、多くの青パトが集まった。

新しいパトロール専用車に乗り、パトロールを行う隊員。隊員たちは皆、オレンジ色の帽子とベストをまとう。

「できることを、できる範囲でやって、少しでも地域に貢献できれば」と白木川さん

編集後記

嘱託警察犬が必要とされる背景、現状や課題等を取材で学べました。それにしても犬は賢い。警察犬、盲導犬、猟犬、牧羊犬…、昔から人の相棒のようなものですね。あの西郷さんのツンも優秀な犬だったそうです。（前田）

五輪金メダリスト・田知本遥さんの柔道教室。その一挙一動に、仕事を忘れそうになりました。２月の冬季五輪は、スキーやアイスホッケーなどのウインタースポーツを観戦できることと、偉大な記録誕生の瞬間が楽しみです。（原田）

西郷どんは鹿屋に来て何を話し、どこを訪れたのでしょうか。またその時鹿屋にはどんな人がいて、どんな生活をしていたのでしょうか。明治維新150周年の今年、昔のことに思いを馳せてみるのも楽しいかもしれません。（田嶋）

✂キリトリ線

お便り＆メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。